

見えない敵と戦う今

校長 本多 守

ワールドカップ大会で盛り上がったシーズンは、素晴らしい感動の余韻を残して終了しようとしていた矢先に、新型コロナウイルス感染症が発症し世界中を震撼させている。

楽しみにしていた、トップリーグの試合や高校生の全国大会も中止になり残念でならない。

本スクールでも、卒業式・入校式は未だに実施出来ないままで新しいシーズンを迎えようとしている。
何時から活動できるか、光が見通せないのも、みんなは意気消沈しながら不安な日々を過ごしていることでしょう。

このような局面を打開するためには、専門家が指摘している予防の3原則『3密』を遵守しながら、今、自分が出来ることを一生懸命頑張るより他に手段はありません。

みんなは、いつ再開されてもしっかり対応出来る状態に準備しておくことも心掛けて欲しい。

一刻も早く感染症が収束し、青空の下、元気で楕円形のボールを追いかける日が来ることを待ちたいと思う。

一人の力は微力でも、世界中の人々がワンチームになれば大きな力になる。今は、自分を信じ、仲間を信じ、自分のため、仲間のため、手を携えて頑張る時ではないでしょうか。

ご両親から頂いた 唯一の生命です。
一人の犠牲者も出さず全員がそろって活動再開できる日が来ることを祈るばかりです。 もうしばらく我慢しましょう。